

毎週火、金曜日発行（但休日には休む）
昭和四年四月十五日第三種郵便物認可

鳥取県公報

告 示

鳥取県告示第四百四十一号

次の土地を保安施設地区指定予定地にする旨森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第四十四条において準用する同法第二十九条の通知を受けたので同法第三十条の規定により告示する。

昭和三十年九月十三日

鳥取県知事 遠 藤 茂

目 次

- ◇告示 保安施設地区指定予定
土地の公用廃上
建設業者の変更登録
土地改良事業計画の縦覧
小売販売業者甲の営業所所在地の変更
- ◇公告 公共職業補導所補導生の募集

所 在 地 番	台 帳	指定の目的	指定期間
市部一町村一大字一丁目一	全面積 町	全面積 町	
西伯 逢坂 松河原 松尾ノ峯	、四〇〇〇 町	、四〇〇〇 町	火災防備のため
同 同 同 同	、一〇〇〇 町	、一〇〇〇 町	一箇年
同 同 同 同	、一、四五四ノ二七 町	、一、四五四ノ二七 町	
同 同 同 同	、一、四五四ノ二八 町	、一、四五四ノ二八 町	
同 同 同 同	、一、四五四ノ二九 町	、一、四五四ノ二九 町	
同 同 同 同	、一、四五四ノ三〇 町	、一、四五四ノ三〇 町	

鳥取県告示第四百四十四号

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第七条第一項の規定により、東伯郡三朝町大字久原山根忠久外十四人の者から三朝町大字久原土地改良区設立の認可の申請があつたので、当該土地改良事業計画及び定款につき、詳細な審査を行つた結果、当該申請を適当と決定した。よつて次のように縦覧に供する。

昭和三十年九月十三日

鳥取県知事 遠藤 茂

- 一 縦覧に供すべき書類の名称
 - (一) 土地改良事業計画書の写
 - (二) 定款の写
- 二 縦覧の期間

昭和三十年九月十四日から同年十月三日まで
- 三 縦覧の場所

東伯郡三朝町役場
- 四 異議の申立

利害関係人において公告に係る決定に対して異議があるときは縦覧期間満了後十日までに書面をもつて知事に申し立てること。

鳥取県告示第四百四十五号

食糧管理法施行規則（昭和二十二年農林省令第三号）第三十五条の二の規定に基き次のとおり小売販売業者甲の営業所所在地の変更承認した。

昭和三十年九月十三日

鳥取県知事 遠藤 茂

- 登録番号 名 称 営業所所在地
- 東第六号 鳥取米穀企業組合 鳥取市江崎町一二
- 江崎販売所
- 東第八号 鳥取米穀企業組合 鳥取市材木町五四
- 材木町販売所
- 中第六六号 倉吉市研屋町 倉吉市研屋町一、五
- 米穀小売企業組合 〇二

公 告

県立米子公共職業補導所補導生を次の要綱により募集す

る。

昭和三十年九月十三日

鳥取県知事 遠藤 茂

昭和三十年度後期県立米子公共職業補導所
補導生募集要綱

一 科別補導生数等

公共職業補導所名	補導科目	男、女	補導期間	募集補導生数	所在地
	自動車整備科	男	六箇月	三〇	米子市博労町四ノ二二〇
米子	経理事務科	男、女	三〇	三〇	

二 選考日時等

1 日 時 昭和三十年九月二十七日 午前九時

2 場 所 米子公共職業補導所

3 願書締切 昭和三十年九月二十六日

4 選考方法 国語、数学及び社会につき、補導生として必要な学力の筆記試験、並びに簡単な口頭試問及び人物考査を行う。

三 応募資格

- 1 義務教育を修了した者。但し経理事務科については、新制高校卒業程度の学力を有する者。
- 2 補導上の作業に堪える身体機能の强健な者。
- 3 意志強固にして将来その業に精進しようとする者。

四 応募手続

入所願書に最終学校卒業証明書又は入所資格を証する学力証明書を添えて、も寄の公共職業安定所に提出のこと。

五 入所予定月日

昭和三十年十月五日

六 処 遇

補導修了後の就職あつ旋、授業料の不要、補導用器具無料貸与、通学運賃割引適用、加配米受配の適用、失業保険金受給資格の存続等。

七 その他

寄宿舎設備なし
選考日には、筆記用具、晝食、上履を持参のこと。